

<目次>

●川崎でも、校則を変える動きが始まった！

■道路交通騒音。元々環境基準を上回っているからOK?!ムリ!

▲ お知らせコーナー

☆7/10参議院選挙

☆7/17映画「気候戦士」上映会

☆7/17平和公園コンサート

☆7/30シンポジウム「戦争を伝える」ということ

★ 編集後記

●川崎でも、校則を変える動きが始まった！

新しい川崎 23号と25号で紹介した、校則を見直そうという保護者たちの動きから大きな変化が始まりました。

6月市議会で、後藤共産党市議が、校則問題を追求し、教育長から貴重な回答を引き出しました。今回は、そのポイントを3点紹介します。

(質問1) おかしな校則を見直すことについての教育長の見解

(回答) 児童生徒や保護者が疑問を感じるようなルールや、学校が合理的な説明ができないようなルールは、児童生徒が主体的に参加しながら、見直していく必要がある。

児童生徒が学校生活のルールを無批判的に受け入れるのではなく、身近な課題として自ら解決していくことは、教育的にも有意義である。

(質問2) 児童生徒が関与して、校則を変えていった取り組み事例

(回答) 昨年度、靴下の色について、保護者から意見があり、教員が生徒自身に考える機会を提供したところ、各学級で靴下の色について検討し、学級代表の生徒が意見を持ち寄り、生徒総会で決議をし、白のみから、白・黒・グレー・紺に変更した。

(質問3) 校則の見直し手続きを校則に明記している学校の有無。

(回答) 現在、学校生活ルールに手続きを明記している学校はない。

後藤議員は、この回答に対し、児童生徒や保護者が疑問を感じる校則は、学校が主体的に見直し、児童生徒と一緒にあってより良いものにしていけることを徹底させるよう強く要望しました。

市内の多くの学校では、疑問を感じる校則が、まだまだあります。
今後、校則の見直しをする取り組みが、全学校に広がることを期待します。

■道路交通騒音。元々環境基準を上回っているからOK?!ムリ!

「(仮称)西加瀬プロジェクト」のアセスメント準備書批判の意見の一部を紹介します。
意見書の提出は、7月6日までです。ぜひ、意見書を提出しましょう。

「準備書」では、物流センター関連車両の走行に伴う道路交通騒音の予測結果は昼間・夜間とも多くの地点で環境目標を上回っていることが明らかになりました。

「環境保全目標を上回るが、現況でも環境保全目標の値と同程度、あるいは満足していない地点であり、施設関連車両の走行による増加分は、最大で1.8デシベルと予測。

本事業の実施にあたっては、施設駐車場内にエコドライブの看板を設置し、運転者に対し実施を促すなど環境保全のための措置を講ずる。

以上のことから、「道路沿道の生活環境の保全に著しい影響を及ぼすことはない」と評価する。」と言います。

目を疑いたくなる評価です。

「すでに現況の騒音が環境基準を上回っているから、物流関係車両が1千数百台増えても、騒音は、わずかの増加であり問題がない。」と言う論法は、アセスメント条例を軽視した暴論と言わざるを得ません。

市民感覚からすれば、すでに環境基準をオーバーしているのですから、減らすべきであり、増やすなどともありません。

大和建設工業は常識が通用しない組織なのでしょうか。

環境基準が守られていない現況は、国・県・市の行政の責任が問われる問題です。

環境影響審議会においては、「これ以上の環境悪化は許されない」という、厳しい裁定を下されるよう要望します。

▲ お知らせコーナー

☆参議院選挙

7/10 午前7時～午後8時

参院選では「選挙区選挙」と「比例代表選挙」が行われますので、有権者1人につき2回

投票します。

選挙区選挙は「選挙区の候補者名」を書いて投票し、比例代表選挙では「政党名」または「比例代表の候補者名」のいずれかを書いて投票します。

神奈川選挙区は改選される議席数は4ですが、欠員1の非改選の選挙も同時に行われるため、計5人を選ぶことになります。

☆映画「気候戦士」

～クライメート・ウォーリアーズ～

7/17(日)17時30分～20時

川崎市総合自治会館4階ホール

参加費：無料

申込 kawasakisaience@gmail.com

044-722-6766(高橋)

主催：NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

<https://unitedpeople.jp/climate/>

☆平和公園コンサート

7/17(日)17時～20時

中原平和公園野外音楽堂

入場無料(賛同金：800円)

主催：川崎平和公園コンサート実行委員会

お問い合わせ 044-411-6402(松平晃)

☆シンポジウム「戦争を伝える」ということ

歴史・平和教育の大ベテランから次世代の教育者たちへ託すメッセージ

シンポジスト

渡辺賢二 (明治大学平和教育登戸研究所資料館展示専門委員)

川口重雄 (元田園調布学園中等部・高等部社会科教諭)

橋本暁 (和光高等学校校長・社会科教諭)

オンライン開催のみ(Zoom ウェビナー)

7/30(土)13時～15時

主催：お申し込み

締切り：7/25 400名まで

明治大学平和教育登戸研究所資料館

E-mail: noborito@mics.meiji.ac.jp

氏名・Eメールアドレスを添えて申込み

<https://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

★ 編集後記

インボイスについての論議が噛み合わない。

インボイスとは、これまで零細業者への配慮で免除していた消費税の未納額を、発注元に支払わせようという制度です。

発注元は「どうして俺が払わにゃならんのだ」と国に抗議すべき。(今はその段階)

導入されるとそれが納入業者や、一人親方、フリーランスに向けられ、「取引続けたいなら自分で払え」となる。

これまで簡単な伝票で納めて、税込み**円と手書きで書いた請求書で済んだものが、まず長い登録番号を正確に書き、請求額と税額をキチンと分けた請求書を書かねばなりません。一人でやってるスナックのママも、それをやらないとお客は「接待経費で会社が認めてくれない」となります。

事実上の非課税業者締め出し。いじめです。国家ぐるみの零細業者いじめ。

国がいじめをやってちゃ子どものいじめも無くならない。

子どもはおとなの鏡です。(Y)

川崎民主市政をつくる会

〒 211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>